

平成26年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月21日

上場会社名 株式会社 キタック
 コード番号 4707 URL <http://www.kitac.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部経理課長
 四半期報告書提出予定日 平成26年3月5日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 中山 輝也
 (氏名) 井村 弘章
 TEL 025-281-1111

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年10月期第1四半期の業績(平成25年10月21日～平成26年1月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年10月期第1四半期	180	△14.6	△60	—	△71	—	△46	—
25年10月期第1四半期	211	△27.5	△52	—	△65	—	△43	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年10月期第1四半期	△8.36	—
25年10月期第1四半期	△7.69	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年10月期第1四半期	5,400	1,768	32.8	315.83
25年10月期	5,224	1,837	35.2	328.06

(参考)自己資本 26年10月期第1四半期 1,768百万円 25年10月期 1,837百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年10月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年10月期	—	—	—	—	—
26年10月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年10月期の業績予想(平成25年10月21日～平成26年10月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,464	14.7	205	43.4	175	42.3	100	42.9	17.90
通期	2,468	11.2	231	20.9	180	15.4	110	71.9	19.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年10月期1Q	5,969,024 株	25年10月期	5,969,024 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

26年10月期1Q	368,435 株	25年10月期	368,435 株
-----------	-----------	---------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年10月期1Q	5,600,589 株	25年10月期1Q	5,600,589 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府主導による経済対策や日銀の金融緩和政策などを背景にして、円高の是正や株価の回復が進み企業収益も改善する等、景気は緩やかながら回復基調の動きがみられたものの、一方では新興国経済の下振れ懸念や平成26年4月の消費税率引き上げなどにより、先行き不透明な状況で推移しました。

その中で当社の属する建設コンサルタント業界の市場環境におきましては、国の建設投資については経済対策として公共事業の補正予算の執行などがあり堅調に推移したものの、一方では地方公共団体の公共事業については新規事業の予算縮減が継続されているため、引き続き厳しい受注環境となりました。

こうした状況の中、当社としては、他社との差別化を目指して、培ったノウハウを活用し顧客のニーズに合った技術提案の強化を経営の最重要課題のひとつとして位置付けて、きめ細かな営業活動を展開し全社を挙げて受注確保に取り組んだ結果、当第1四半期累計期間の受注高は4億4千5百万円(前年同四半期比25.5%増)となりました。

収益面につきましては、後述のとおり売上高の季節的変動要因などの影響により、売上高1億8千万円(同14.6%減)、営業損失6千万円(前年同四半期は営業損失5千2百万円)、経常損失7千1百万円(同経常損失6千5百万円)、四半期純損失4千6百万円(同四半期純損失4千3百万円)となりました。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(建設コンサルタント事業)

建設コンサルタント事業の当第1四半期累計期間の業績は、売上高の季節的変動要因などの影響により、完成業務収入1億3千8百万円(前年同四半期比18.9%減)、売上総利益4千9百万円(同5.2%減)となりました。

(不動産賃貸等事業)

不動産賃貸等事業の当第1四半期累計期間の業績は、入居率の上昇及び諸経費削減などにより、不動産賃貸等収入4千1百万円(前年同四半期比3.6%増)、売上総利益1千1百万円(同9.7%増)となりました。

②売上高の季節的変動について

当社の主要事業である建設コンサルタント事業は、主要顧客先が国・地方自治体であることから、公共事業の工期が事業年度末である3月および9月に集中する傾向にあるため、当社の売上高の計上時期が第2四半期会計期間と第4四半期会計期間に偏る傾向が高い反面、販売費及び一般管理費は各四半期毎に概ね均等に発生するという季節的変動要因があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は、54億円(前事業年度末比1億7千5百万円増)となりました。

主な増減内訳は、現金及び預金(同6千6百万円増)、受取手形及び完成業務未収入金(同2億4千1百万円減)、未成業務支出金(同3億2千4百万円増)等であります。

(負債)

負債合計は、36億3千1百万円(前事業年度末比2億4千4百万円増)となりました。

主な増減内訳は、業務未払金(前事業年度末比6千7百万円減)、未払法人税等(同2千8百万円減)、短期借入金(同3億6千万円増)等であります。

(純資産)

純資産合計は、17億6千8百万円(前事業年度末比6千8百万円減)となりました。

主な増減内訳は、利益剰余金(同7千4百万円減)等であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績予想につきましては、当第1四半期累計期間において概ね計画通り推移しておることから平成25年12月9日付発表「平成25年10月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の記載から変更はありません。なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年10月20日)	当第1四半期会計期間 (平成26年1月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	78,861	145,393
受取手形及び完成業務未収入金	370,802	129,219
未成業務支出金	318,168	642,475
貯蔵品	3,789	3,533
繰延税金資産	22,895	48,630
その他	16,505	21,359
貸倒引当金	△908	△322
流動資産合計	810,114	990,289
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	321,802	316,912
工具、器具及び備品(純額)	450,990	450,897
賃貸資産(純額)	1,074,970	1,079,436
土地	2,354,153	2,354,153
その他(純額)	32,033	24,605
有形固定資産合計	4,233,950	4,226,006
無形固定資産		
投資その他の資産	14,130	13,392
投資有価証券	127,955	134,471
繰延税金資産	14,893	14,150
その他	23,302	21,784
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	166,143	170,397
固定資産合計	4,414,224	4,409,796
資産合計	5,224,338	5,400,085
負債の部		
流動負債		
業務未払金	133,364	66,071
短期借入金	740,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	254,388	254,388
未払法人税等	30,021	1,115
未成業務受入金	134,482	199,247
賞与引当金	37,735	17,466
業務損失引当金	1,964	10,281
その他	160,808	153,162
流動負債合計	1,492,766	1,801,732
固定負債		
社債	350,000	350,000
長期借入金	1,277,716	1,214,119
退職給付引当金	51,010	49,298
役員退職慰労引当金	184,411	186,311
その他	31,088	29,797
固定負債合計	1,894,226	1,829,526
負債合計	3,386,992	3,631,258

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年10月20日)	当第1四半期会計期間 (平成26年1月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	479,885	479,885
資本剰余金	306,201	306,201
利益剰余金	1,142,098	1,067,255
自己株式	△110,487	△110,487
株主資本合計	1,817,698	1,742,854
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19,648	25,972
評価・換算差額等合計	19,648	25,972
純資産合計	1,837,346	1,768,827
負債純資産合計	5,224,338	5,400,085

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年10月21日 至平成25年1月20日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年10月21日 至平成26年1月20日)
売上高	211,373	180,463
売上原価	148,719	119,554
売上総利益	62,654	60,909
販売費及び一般管理費	115,222	121,460
営業損失(△)	△52,567	△60,551
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	767	1,812
業務受託手数料	4,347	3,467
その他	675	846
営業外収益合計	5,792	6,127
営業外費用		
支払利息	11,746	11,844
社債利息	836	703
その他	6,514	4,575
営業外費用合計	19,098	17,123
経常損失(△)	△65,874	△71,547
税引前四半期純損失(△)	△65,874	△71,547
法人税、住民税及び事業税	501	476
法人税等調整額	△23,279	△25,183
法人税等合計	△22,777	△24,707
四半期純損失(△)	△43,096	△46,840

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自 平成24年10月21日 至 平成25年1月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	建設コンサルタント事業	不動産賃貸等事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	170,938	40,435	211,373
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	170,938	40,435	211,373
セグメント利益	52,325	10,328	62,654

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

II 当第1四半期累計期間(自 平成25年10月21日 至 平成26年1月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	建設コンサルタント事業	不動産賃貸等事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	138,582	41,881	180,463
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	138,582	41,881	180,463
セグメント利益	49,579	11,329	60,909

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。